

平成30年
4月号



社協だより

月刊

社協
かるが

発行：狩留家地区社会福祉協議会 編集：広報部
広島市安佐北区狩留家町3144番地 TEL：844-0826

若者が住みたくなる狩留家

JR狩留家駅前新しく花壇が出来ました。この花壇は、広島・ひとまち交流プラザHm²（フム）の助成金と地権者の谷口さんやボランティアの皆さんのご協力の結果できました。ご協力頂き有難うございました。

第二ステップとして、この花壇にフェンスやベンチを設置したいと企画し、今年度も助成金の申請をしています。

さて、この花壇の誕生により、狩留家の旧道の南北の起点に花壇が出来ました。これをきっかけに、二つの花壇を結ぶ旧道を「花と緑と香り」のある道にしましょう。

草花の多くは毎年・毎シーズン植替えなどの手入れがいりますが、花木などはあまり手がかかりません。皆様のお住まいの庭先に花が咲き芳香を放つ花木を植えて頂きたいです。数年たてば、花と香りの漂う「夢の国・狩留家」「西方浄土を思わせるおとぎの国・狩留家」となるでしょう。



寒の戻りとも思われる寒風が吹く三月十八日、

広島市は、「二百万人都市構想」を掲げて「花と緑」の町広島づくりを推進しています。市内の中心部には企業が寄付した花壇や花鉢が道の左右

プレーパークin狩小川

を華やかにしています。花の香り漂う狩留家は私たちの心を豊かにしてくれるだけでなく、外部から多くの方々が訪れ、若者が住み付き、子どもが常時聞こえる町になるでしょう。

狩小川小学校近くの河原と対岸の森の中を中心として、プレーパークが行われ

ました。この行事は、可部地区を中心として始まった自然体験型の教育の一環行事です。当日は、保護者に連れられた子供達約百人が参加し、河原では流水を集め、石でかまどを作り火をおこし、缶ビールの空き缶で御飯を炊いて食べていました。一方森の中では木々に張られたロープを利用し綱渡りをしたり、

理事会報告 平成三十年四月十日
一、三十年代各部・各サロンの活動計画(案)の作成
二、公民館まつりについて(五月十九日・二十日)
三、「救急医療情報キッド」について
四、健康ウォーキング教室について
(五月八日、十五日、二十二日)

ロープを滑る滑車ロープウエーを体験していただきました。子供にとつてこの様な遊びの体験はほとんど無く、とつても新鮮な遊びに思えたようです。また参加された保護者の皆さんも子供の自立心を育てる良い行事だと思われたようです。

中郡道の歴史

中郡道とは毛利輝元が家臣井原元尚と二宮成辰に郡山城から広島まで普請を命じた道で、狩留家を北から南に貫いていました。

広島城築城の為の道か、もっと以前、山陽道の重要性から作られた道かはわかりません。この中郡道周辺の郷土史会が集まって六年前に「てくてく中郡古道プロジェクト」を作り、町おこしの活動をしています。

中郡道は井原、三田を三篠川の西側を通り、狩留家の上西橋の横に広瀬橋という橋がかかっています。

三月資源ごみ売上 一万六千円